

Supply infrastructure/
environment-related items
required in social activities



コンドーテック株式会社

決算説明会資料

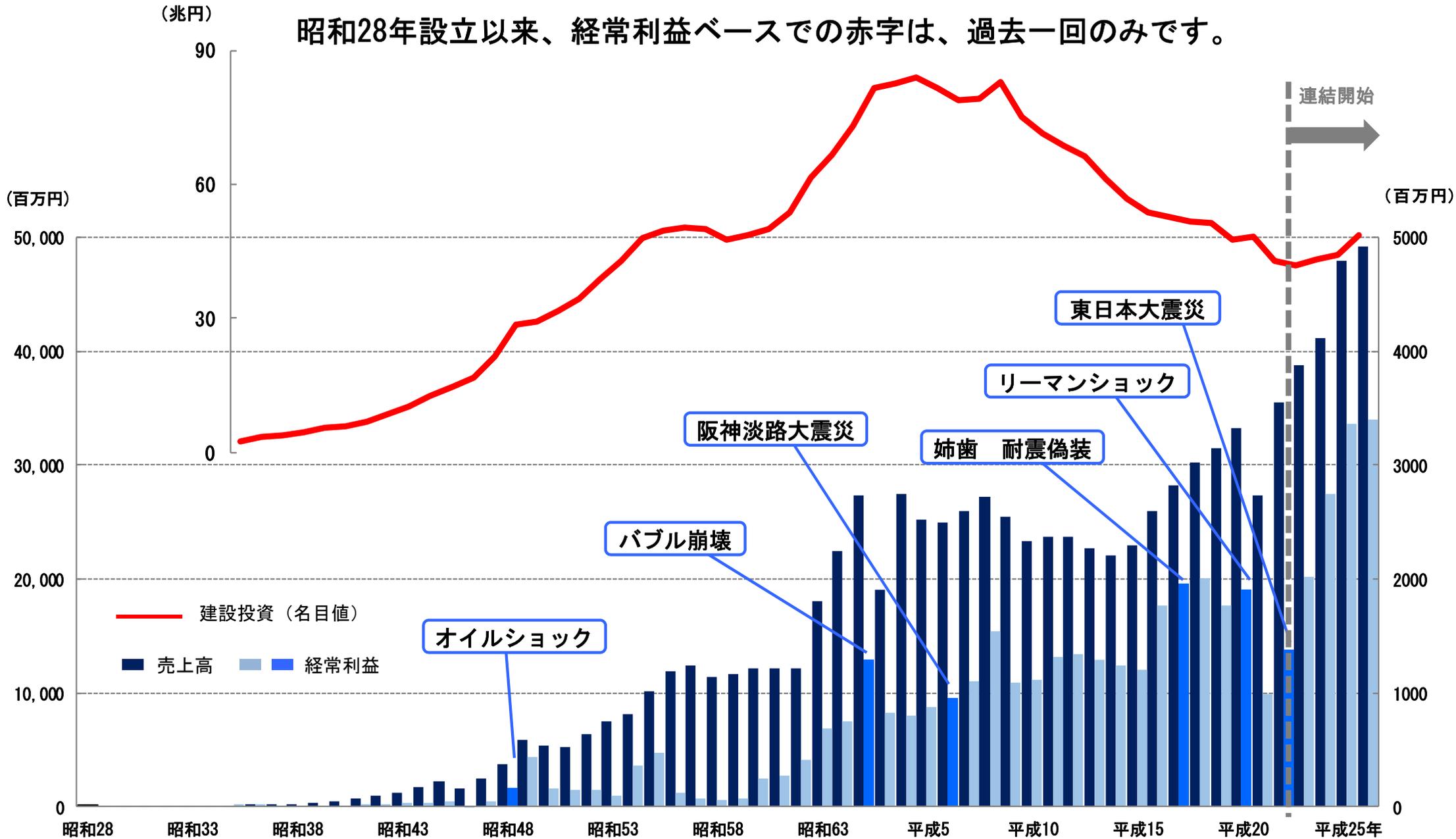
平成27年8月6日

■ 目次 ■

1. 当社の概要	P.2
2. 主要製・商品	P.9
3. 平成28年3月期第1四半期の実績と分析	P.14
4. 平成28年3月期第1四半期の各セグメントの実績と分析	P.20
5. 成長戦略	P.28
6. 株主還元	P.38

1. 当社の概要

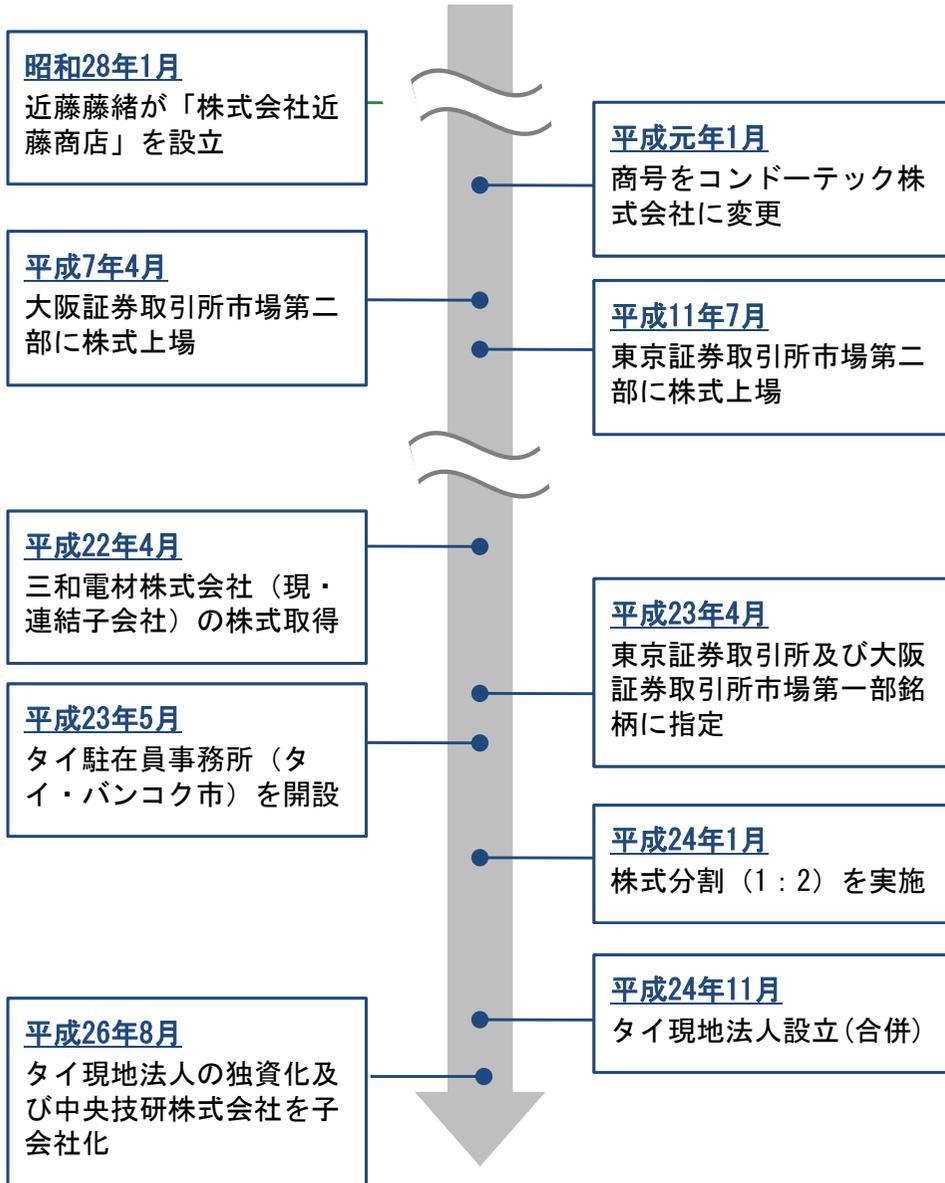
昭和28年設立以来、経常利益ベースでの赤字は、過去一回のみです。



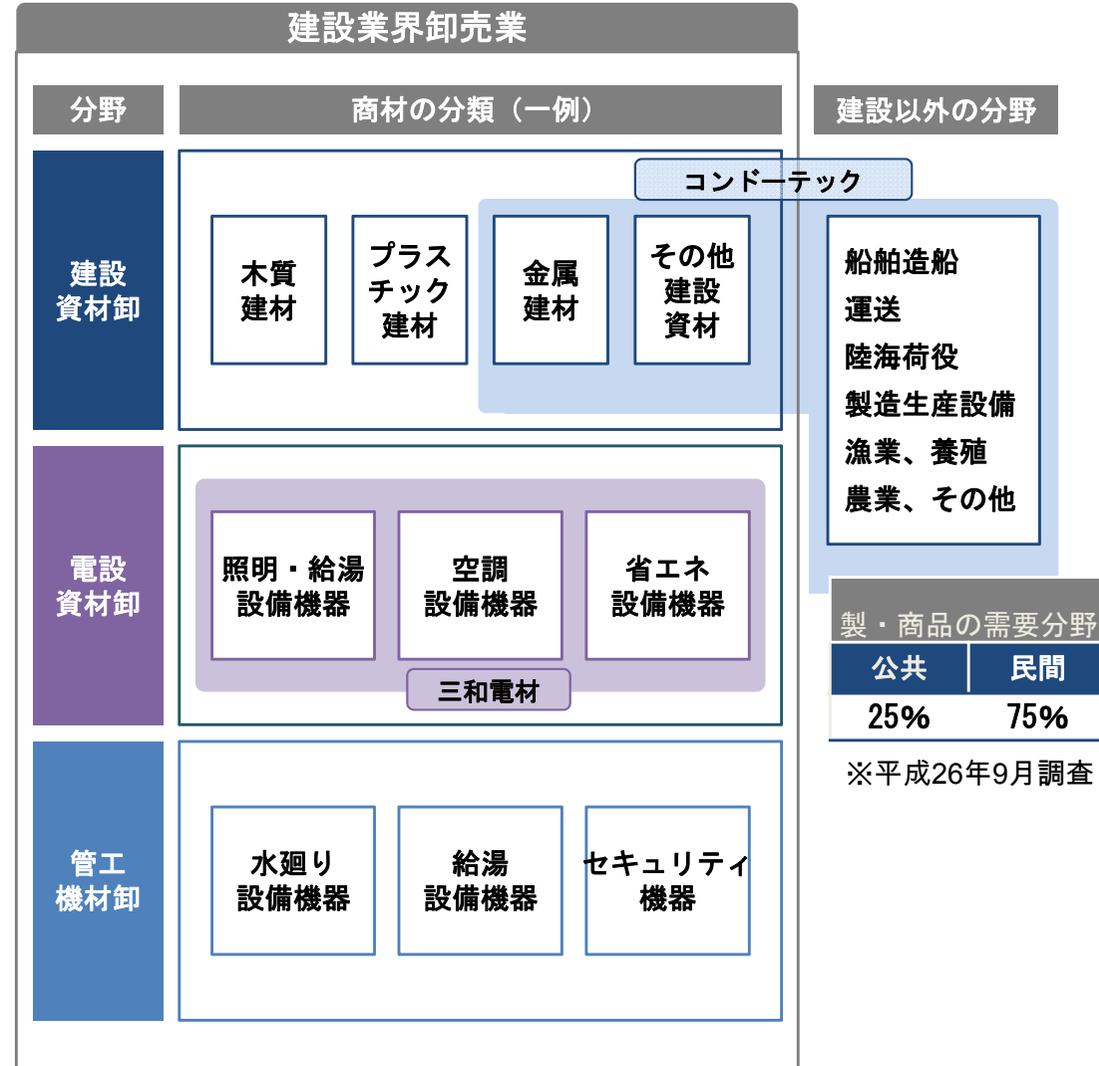
当社の概要

商号	コンドーテック株式会社 (KONDOTEC INC.)
グループ会社	三和電材株式会社、KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.、中央技研株式会社
設立	昭和28年（1953年）1月
代表取締役社長	近藤 勝彦
本社	<p>本社：大阪市西区境川二丁目2番90号</p> <p>東京本社：東京都江東区南砂一丁目9番3号 <small>（注）平成25年7月1日より新たに「東京本社」を設置し、大阪との二本社制となっております。</small></p>
従業員	610名（単体）731名（連結）（平成27年3月末現在）
資本金	26億6,648万5千円
上場区分	東証1部
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> □ 金物小売業を中心に、産業資材を製造・仕入販売 □ 鉄骨加工業者向けに、鉄構資材を製造・仕入販売 □ 電気工事業者や電気小売店向けに、電設資材を仕入販売
主要取扱品目	<ul style="list-style-type: none"> □ 製品 ターンバックル、ブレース、足場吊りチェーン、ねじ製品、アンカーボルト、建設資材、機械装置他 □ 商品 金物類、チェーン、ワイヤロープ、鋸螺、建設資材、照明器具、分電盤、空調機器、エコ商品他

会社設立沿革



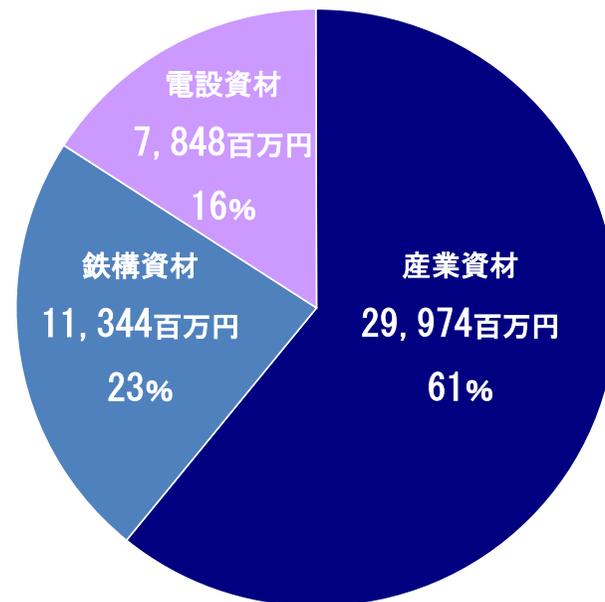
事業ドメイン



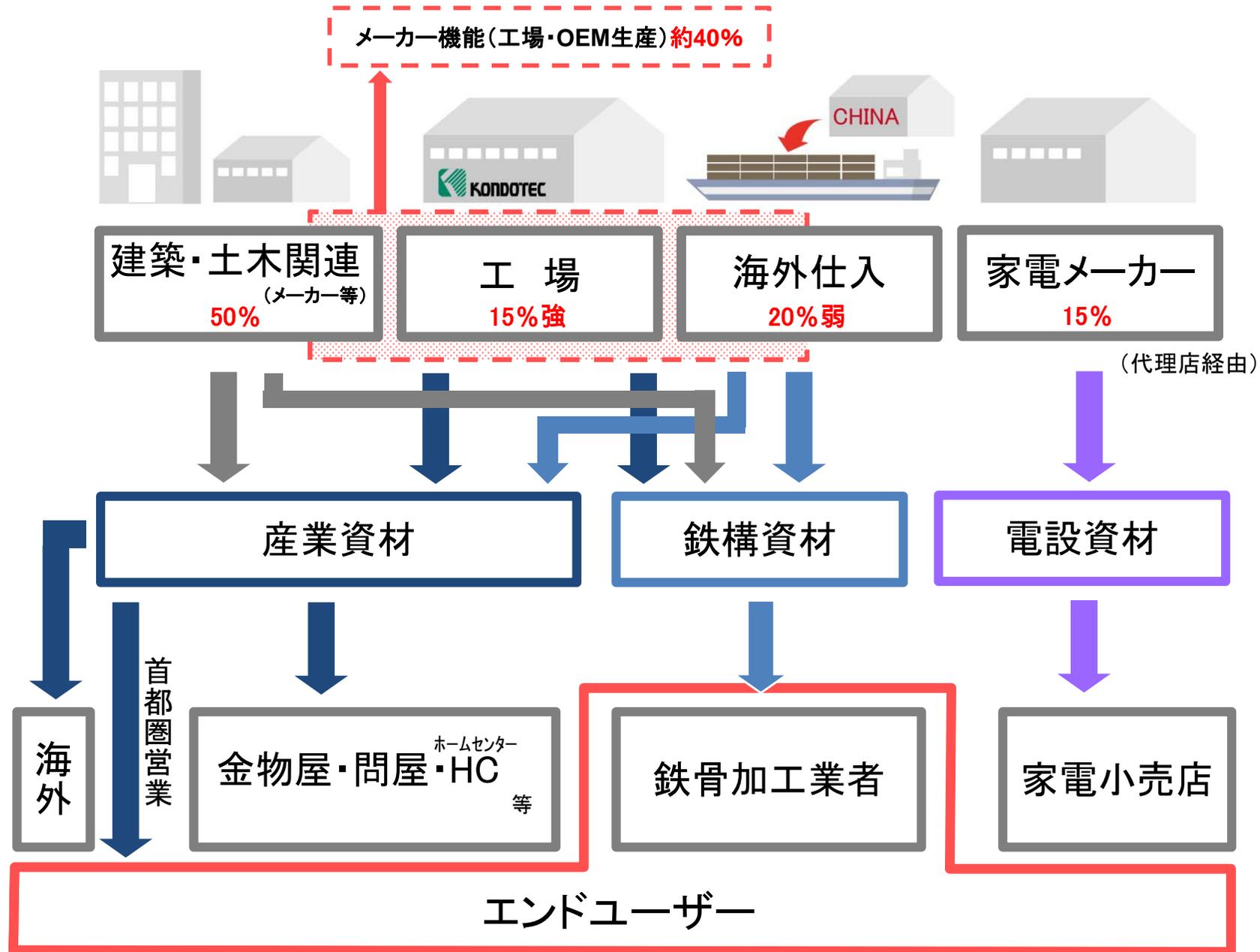
事業別売上構成

セグメント区分	主な製商品
産業資材	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ターンバックル</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>シャックル</p>  </div> </div> <p>足場吊りチェーン、フック、クリップ、各種鋸螺（ねじ、釘）、コンテナバッグ、ブルーシート、セパレーター、機械装置他</p>
鉄構資材	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ターンバックルブレース</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>アンカーボルト</p>  </div> </div> <p>ハイテンションボルト、自立コンピース、コラム裏当金、ブレースシート、コンデッキバー、セラミックスタブ他</p>
電設資材	<ul style="list-style-type: none"> □ 空調機器 （エアコン、換気扇、ダクトファン） □ 照明器具 （LED照明、住宅照明器具他） □ エコ商品 （太陽光発電、エコキュート） □ 電線、分電盤、制御盤、各種センサー他

セグメント別売上高（平成27年3月期）



単体の売上高は、全体の84%を占めております。



<H26/3現在>

主要商材の市場規模と当社シェア

ブレース
市場規模
約110億円
30.2%

アンカーボルト
市場規模
約130億円
13.1%

溶接ワイヤー
市場規模
約110億円
8.2%

型枠関連資材
市場規模
約1,750億円
1.1%

コンテナバッグ
市場規模
約300億円
11.7%

Zマーク金物
市場規模
約500億円
3.6%

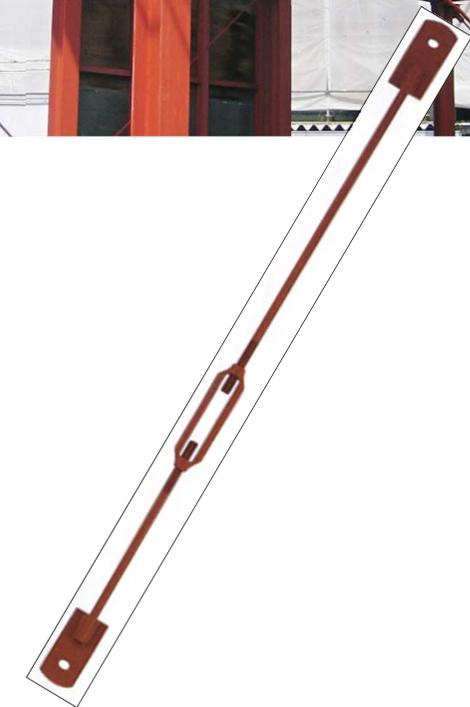
ハイテンション
ボルト
市場規模
約170億円
11.7%

その他、ターンバックル、
足場吊りチェーン、シャックル、
ワイヤロープ、ネット・シート類
ハイテンションボルトなど、
多くの商材を販売しております。

2.主要製・商品

取扱いアイテムは5万点。時代の変化・ニーズに合わせ、さまざまな業界に供給しています。

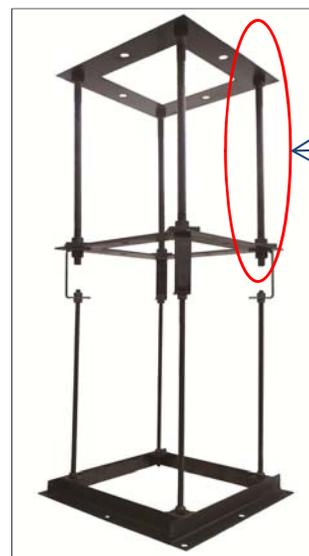




アンカーボルトは土地に施工した基礎コンクリートと建物をつなぐための重要部材です。基礎コンクリートに取り付けられた建物が移動や転倒することを防ぐ役割を持っています。



施工後



アンカーボルト



アンカーフレーム (コンベース・エコ)

当社のコンテナバッグは、がれき処理・除染作業でも使用されています。重機によって、がれき・除染土がコンテナバッグに収納され、仮置き場へ搬入されます。

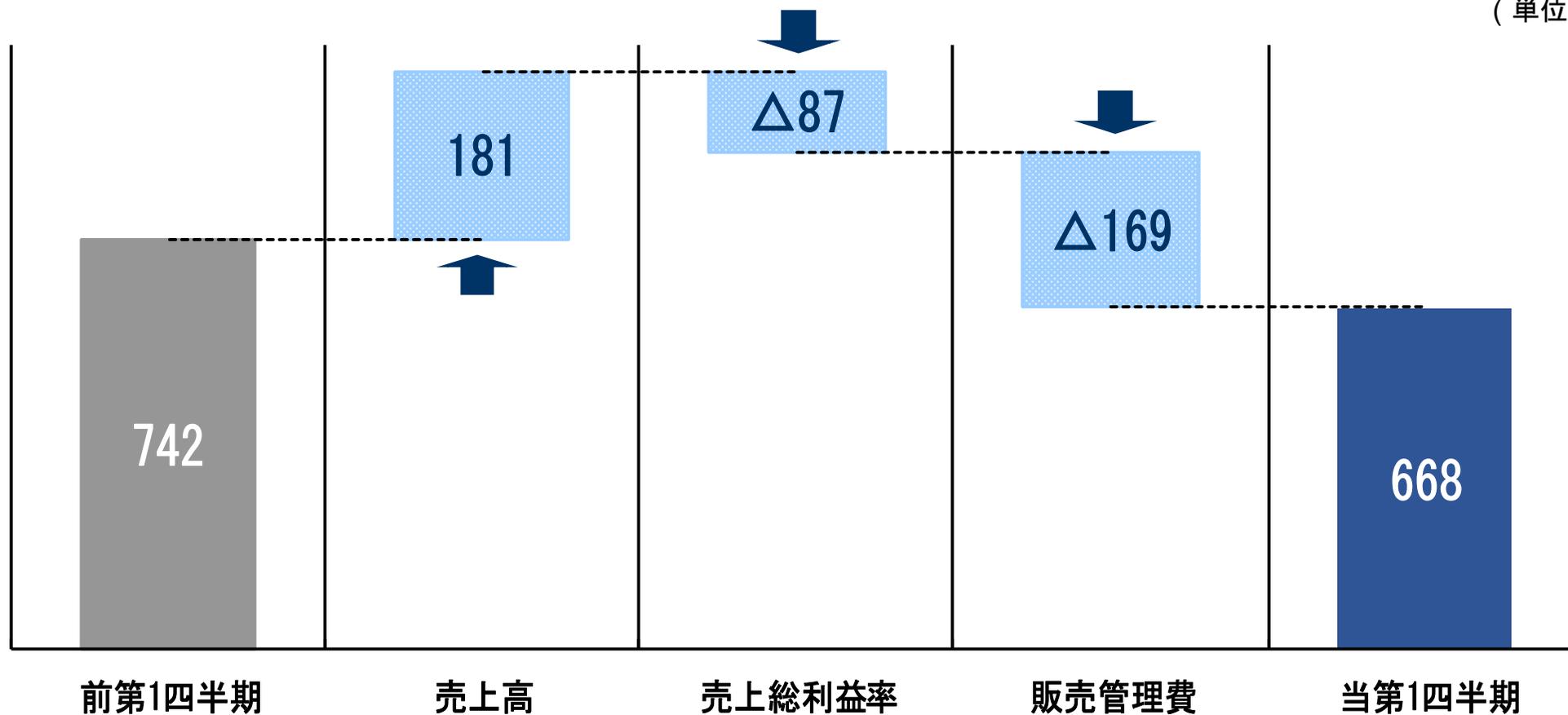


3.平成28年3月期第1四半期の実績と分析

(単位:百万円)

	前第1四半期 (平成27年3月期)	当第1四半期 (平成28年3月期)	前期比	
			金額	%
売上高	11,146	11,988	+841	+7.5
売上総利益	2,410	2,505	+94	+3.9
販売管理費	1,667	1,836	+169	+10.2
営業利益	742	668	△74	△10.0
経常利益	774	699	△74	△9.7
親会社株主に帰属 する四半期純利益	417	449	+32	+7.7

(単位：百万円)

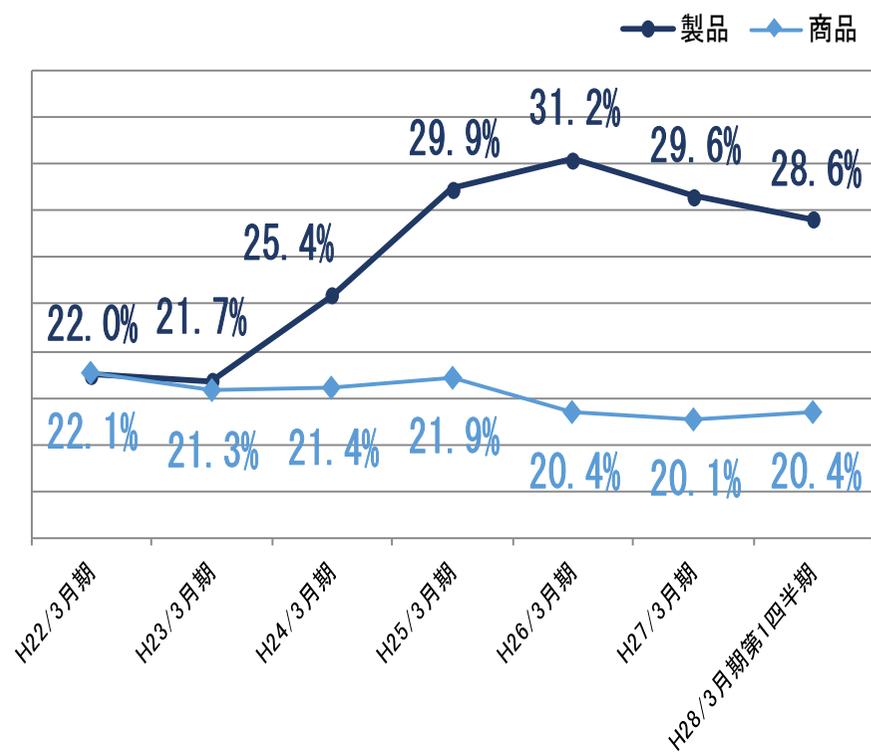


売上総利益	21.6%→20.9%
販売管理費	貸倒引当金繰入額 +60百万円

平成28年3月期第1四半期の状況

- 住宅投資は消費増税の反動減の影響もほぼ薄れてきましたが、人手不足による人件費の上昇、円安にともなう原材料価格の上昇など、懸念材料は依然として残っております。また、公共工事は減少が続き、地域経済の景況感を悪化させる要因となるなど、徐々に停滞感を強めながら厳しい状況で推移しております。
- そのような状況で売上総利益率は、製品は**30%前後**、商品は**20%前後**で推移しております。

製・商品別売上総利益率の推移

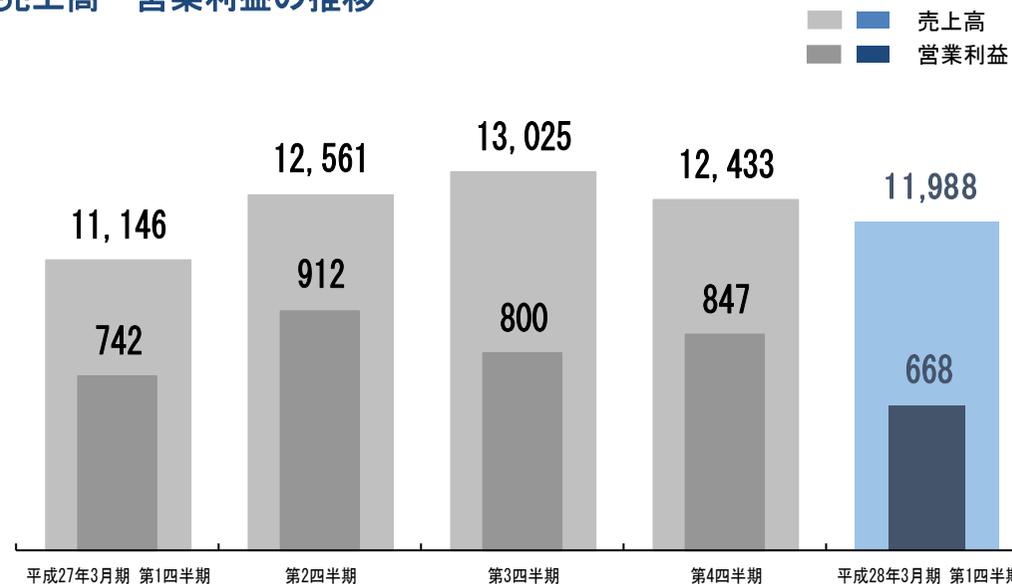


4工場の稼働率(平成27年4月～平成27年6月)

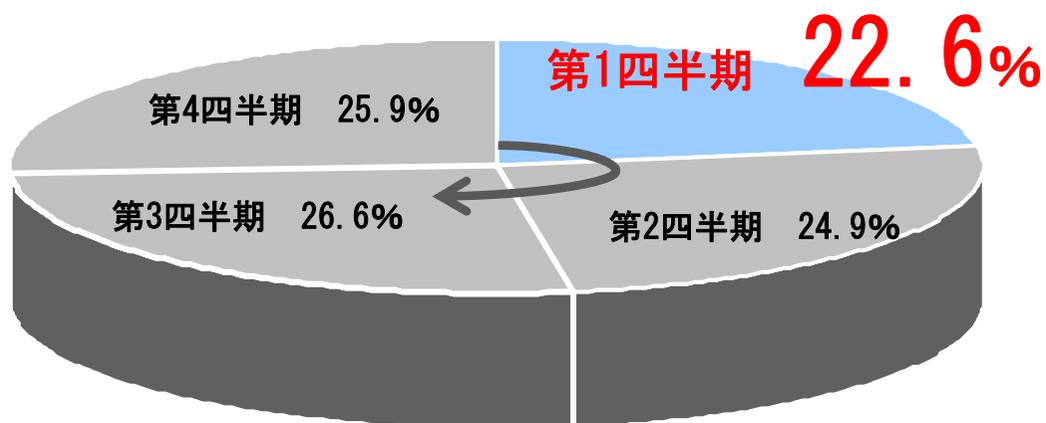


	当第1四半期	通期計画	進捗率
売上高	11,988	51,500	23.3%
売上総利益	2,505	10,916	22.9%
販売管理費	1,836	7,480	24.6%
営業利益	668	3,435	19.4%
経常利益	699	3,537	19.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	449	2,231	20.2%

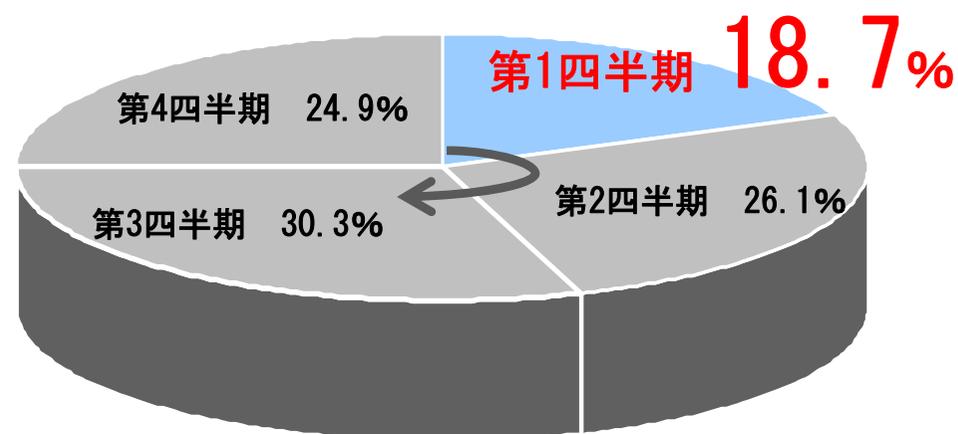
売上高・営業利益の推移



四半期別売上高構成比（過去5年平均）



四半期別営業利益構成比（過去5年平均）



(単位:百万円)

	前期末	当第1四半期末	増減
資産の部			
流動資産	25,376	22,855	△2,520
固定資産	9,809	10,004	+194
資産合計	35,186	32,860	△2,325
負債の部			
流動負債	13,527	11,100	△2,426
固定負債	1,427	1,396	△31
負債合計	14,954	12,496	△2,458
純資産の部			
株主資本	21,294	21,469	+175
その他の包括利益累計額	△1,085	△1,129	△43
純資産合計	20,231	20,363	+132
負債・純資産合計	35,186	32,860	△2,325

増減要因

資産の部

【流動資産】

- ・現金及び預金…△1,950 / 期日前弁済による減少

- ・繰延税金資産…△115 / 賞与引当金の減少

【固定資産】

- ・有形固定資産…+205 / 盛岡営業所出店に伴う増加

負債の部

【流動負債】

- ・未払金…△2,063 / 一括支払信託による支払終了による減少

- ・未払法人税等…△449 / 法人税等の支払による減少

純資産の部

【株主資本】

- ・繰越利益剰余金…+172

- 親会社株主に帰属する四半期純利益により449百万円増加
配当により277百万円減少

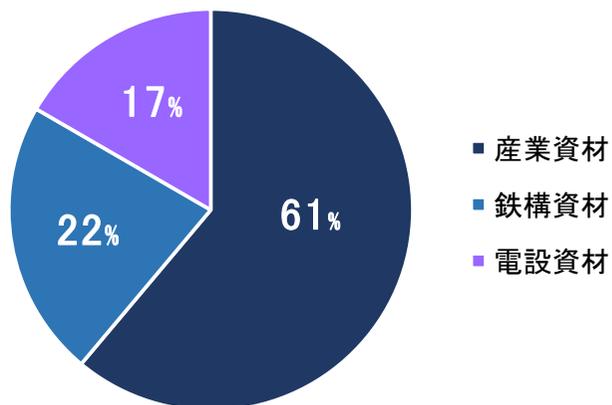
4.平成28年3月期第1四半期の各セグメントの実績と分析

(単位：百万円)

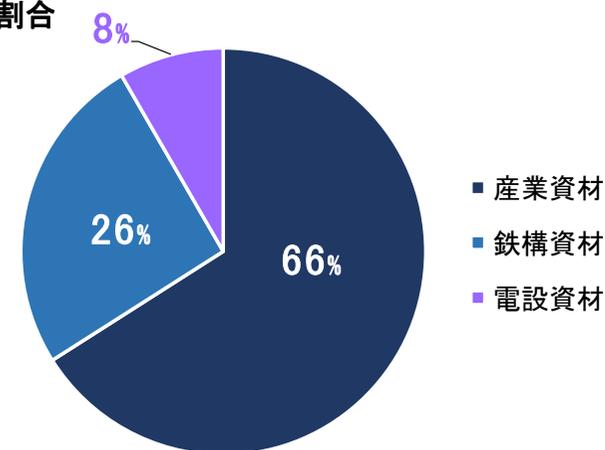
	売上高			セグメント利益又は損失		
	前第1四半期	当第1四半期	増減率	前第1四半期	当第1四半期	増減率
産業資材	6,816	7,323	+7.4%	464	443	△4.6%
鉄構資材	2,565	2,672	+4.2%	200	171	△14.2%
電設資材	1,764	1,991	+12.9%	83	56	△32.2%
調整	—	—	—	△5	△3	—
計	11,146	11,988	+7.5%	742	668	△10.0%

※セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

セグメント別売上割合

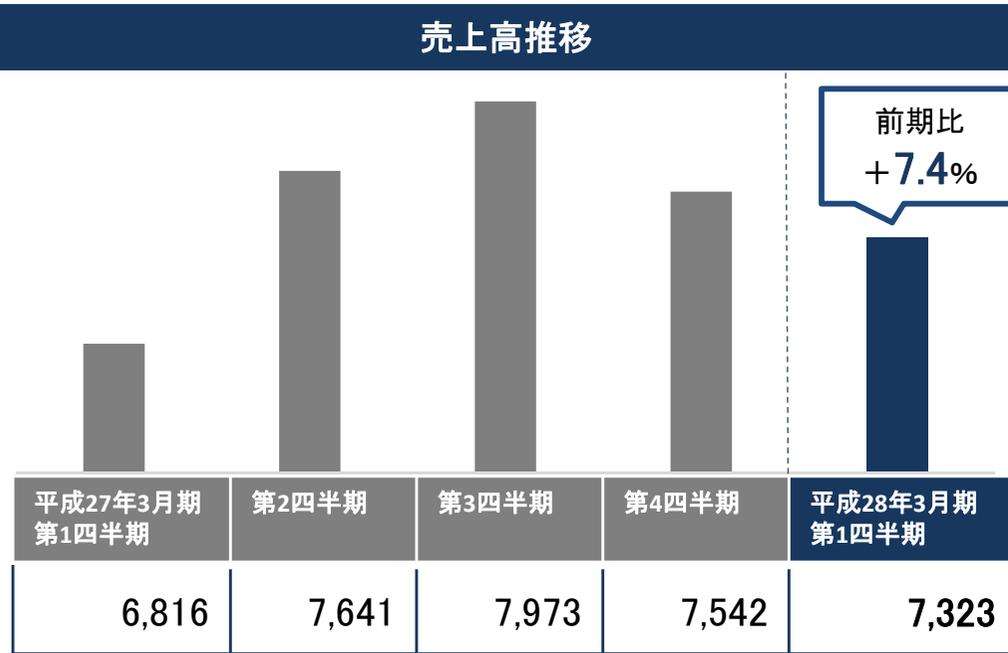


セグメント別利益割合

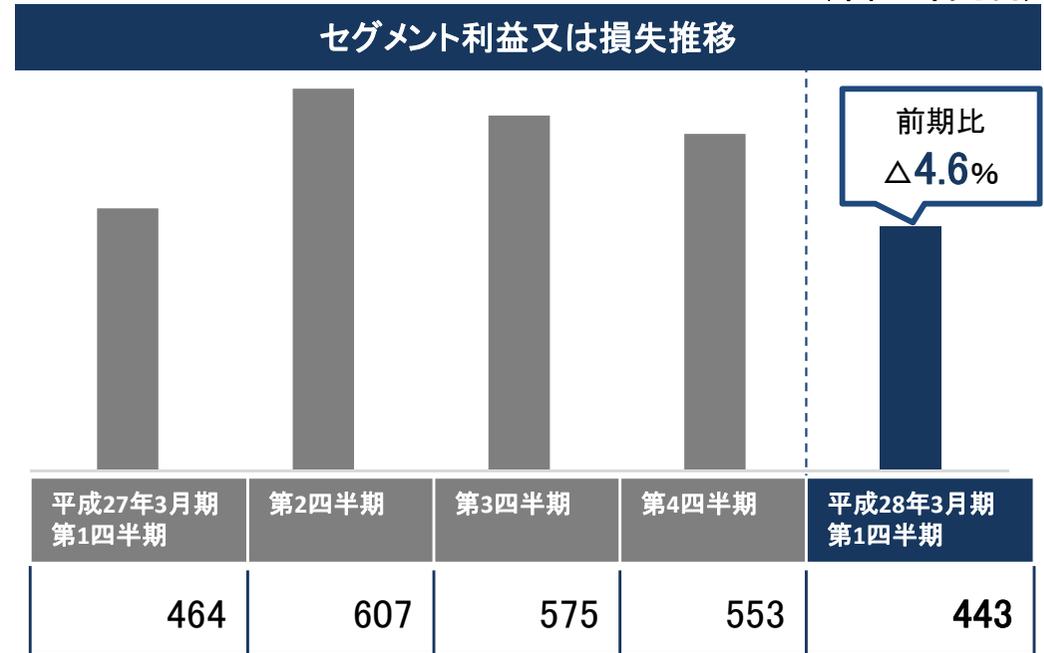


(単位：百万円)

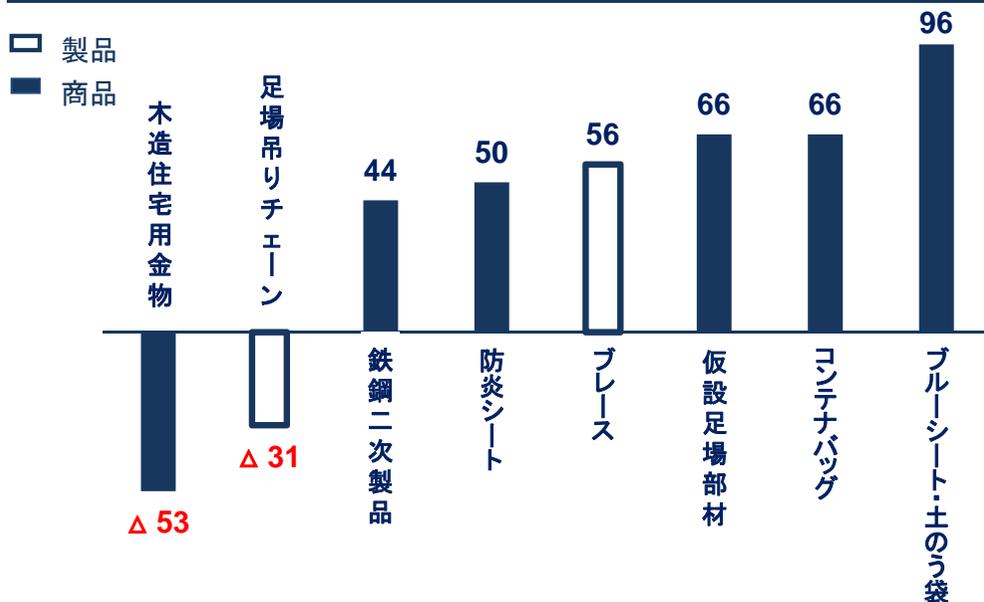
売上高推移



セグメント利益又は損失推移



製商品別売上高増減額 前年同期比較



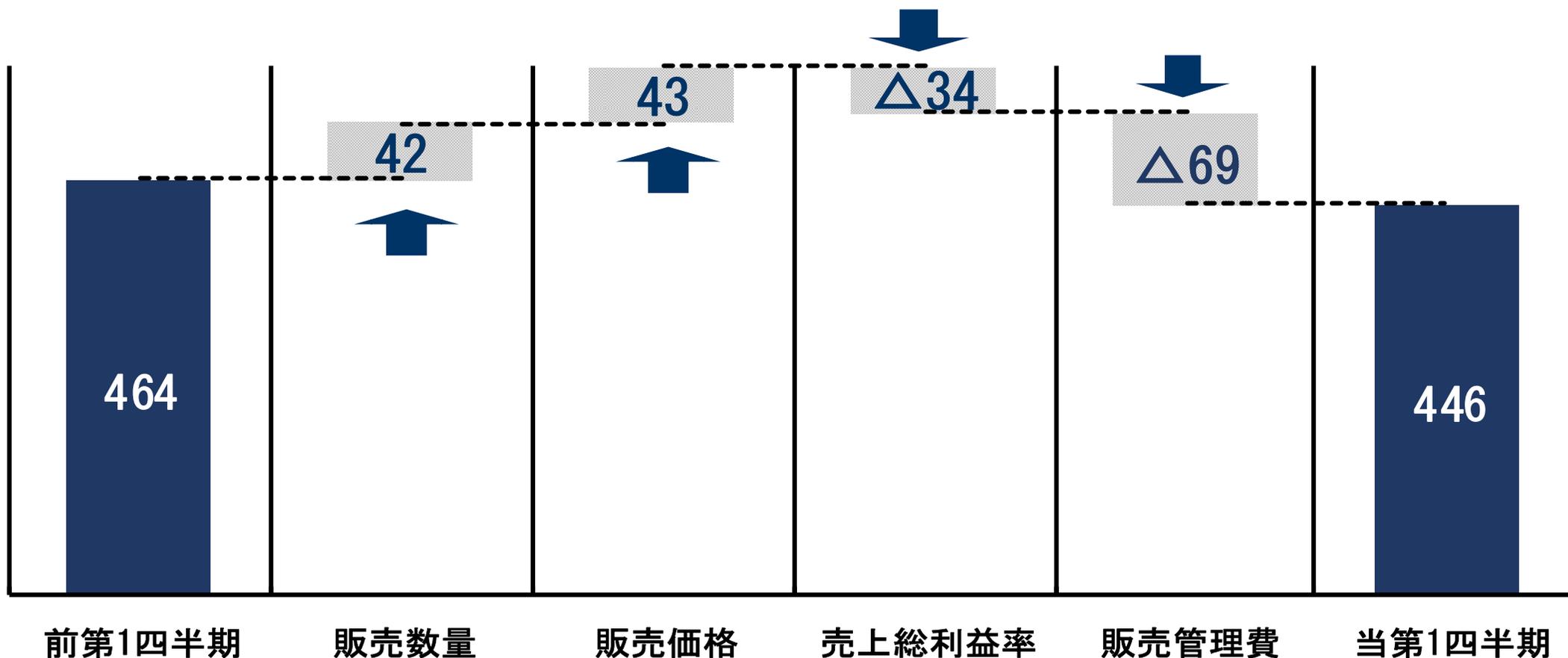
売上高増減要因

前年同期と比較して、約**510**百万円の増加。

公共工事の需要に一服感が見られるものの、都市部での再開発や太陽光発電の架台関連、プラントなどの防災対策工事の需要を取り込み、各資材が堅調に推移。

□ 製品 約+10百万円
 - ブレース/+56百万円 造船企業向けの大口物件あり

□ 商品 約+500百万円
 - ブルーシート・土のう袋/+96百万円 除染関連の需要増
 - コンテナバッグ/+66百万円 除染関連のほか、土木・産廃関連の需要も高まり売上増

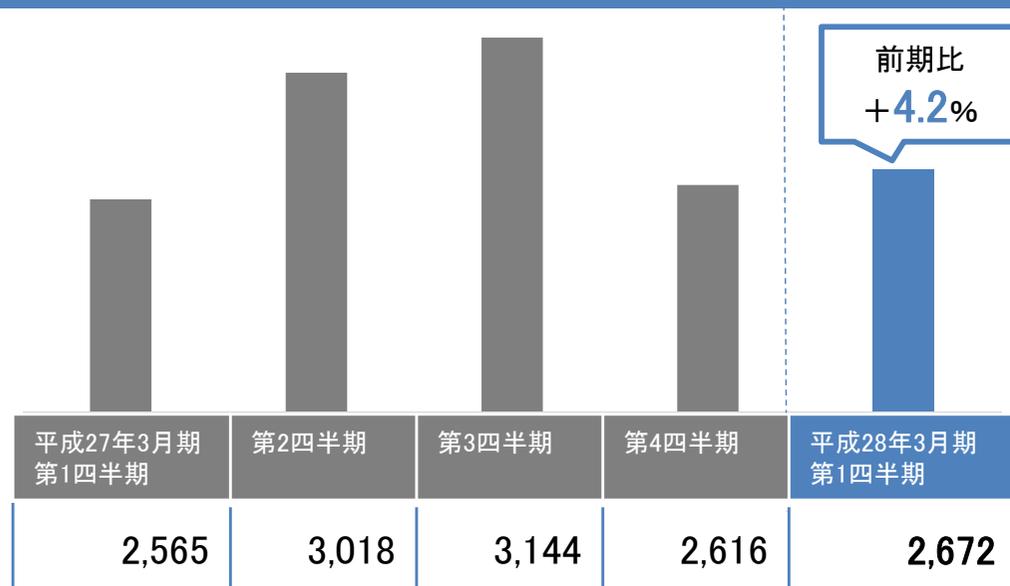


販売数量	製品 △19百万円、商品 +62百万円
販売価格	製品 +15百万円、商品 +27百万円
売上総利益	製品 30.2%→28.8%、商品 20.8%→20.5%
販売管理費	修繕費 +5百万円、自動車費 +3百万円

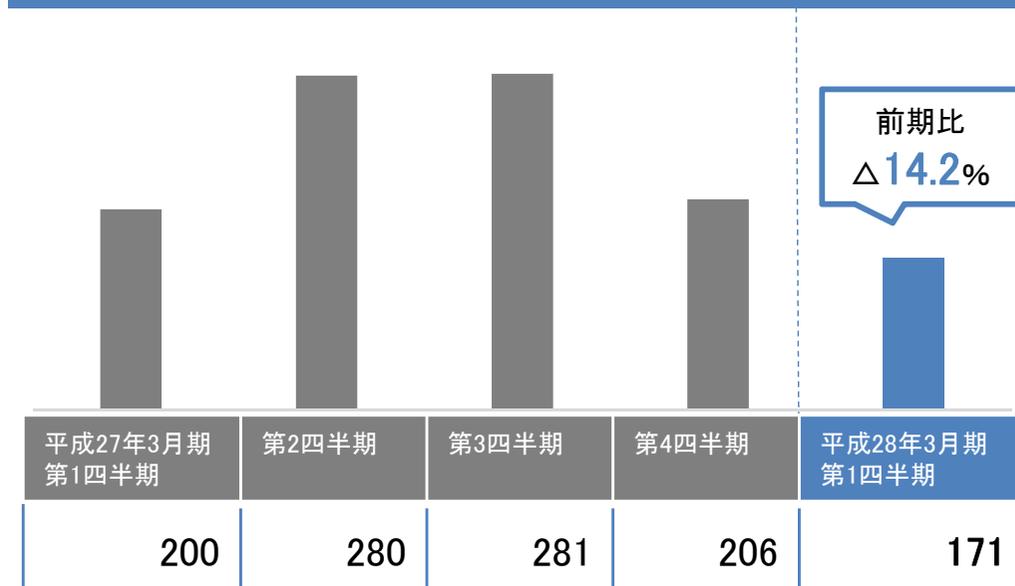
※差異分析には、タイ現地法人および中央技研は加味されておられません。

(単位：百万円)

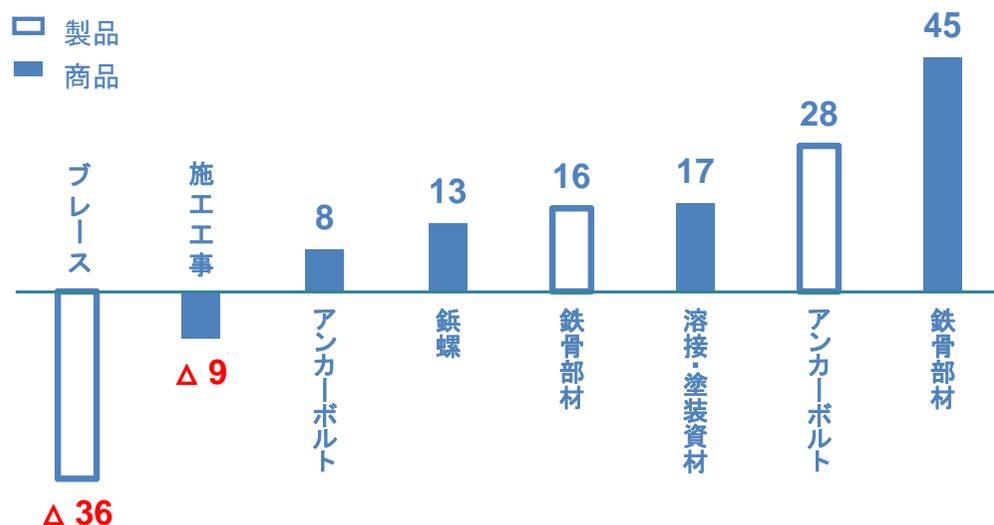
売上高推移



セグメント利益又は損失推移



製商品別売上高増減額 前年同期比較



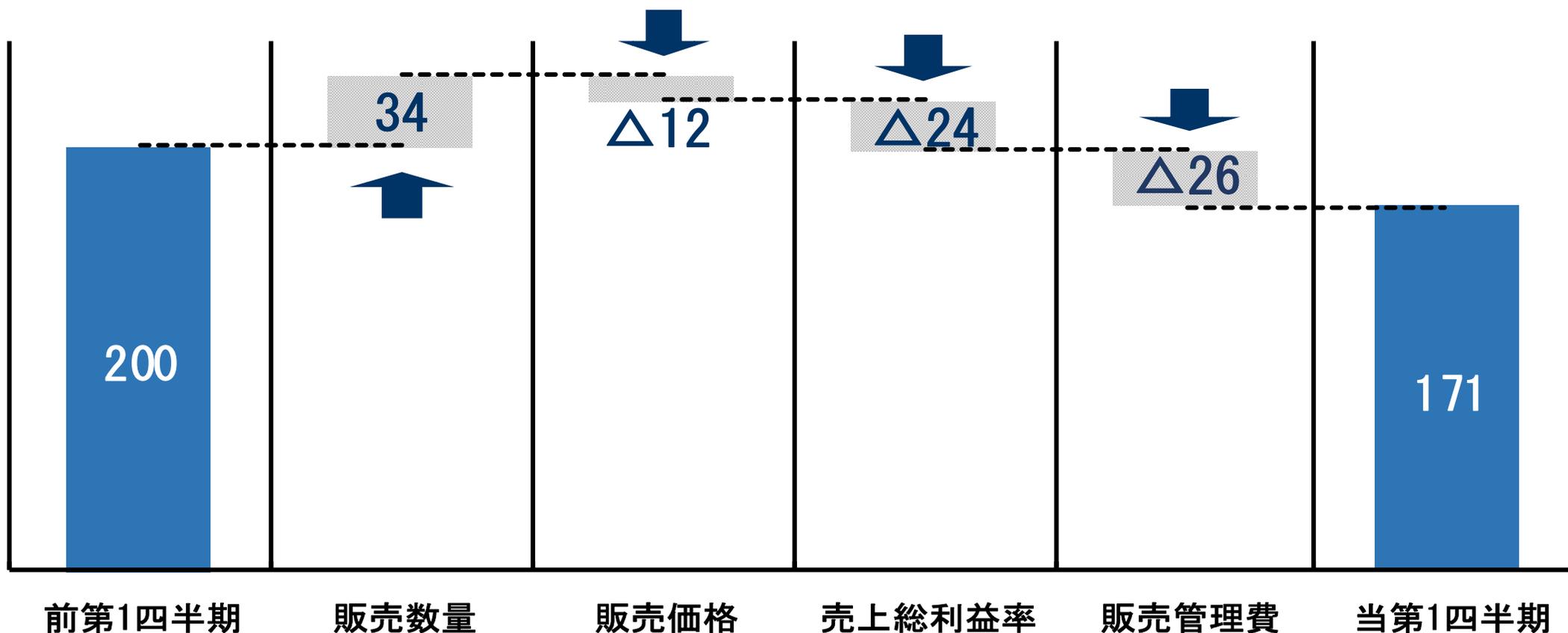
売上高増減要因

前年同期と比較して、約**110**百万円の増加。

需要が活発化するような中小物件は依然として停滞感が強いものの、物流倉庫や商業施設などの大型低層物件、耐震改修工事などの需要は堅調。

□ 製品 約+7百万円
 - アンカーボルト/+28百万円 大型物件の増加による受注増

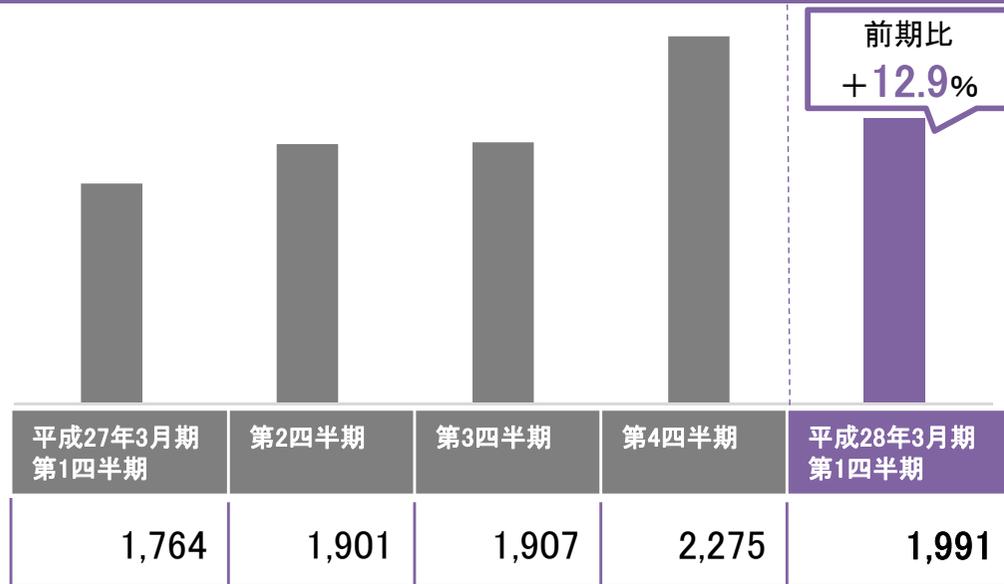
□ 商品 約+103百万円
 - 鉄骨部材/+45百万円 大型物流倉庫・商業施設向けの受注増



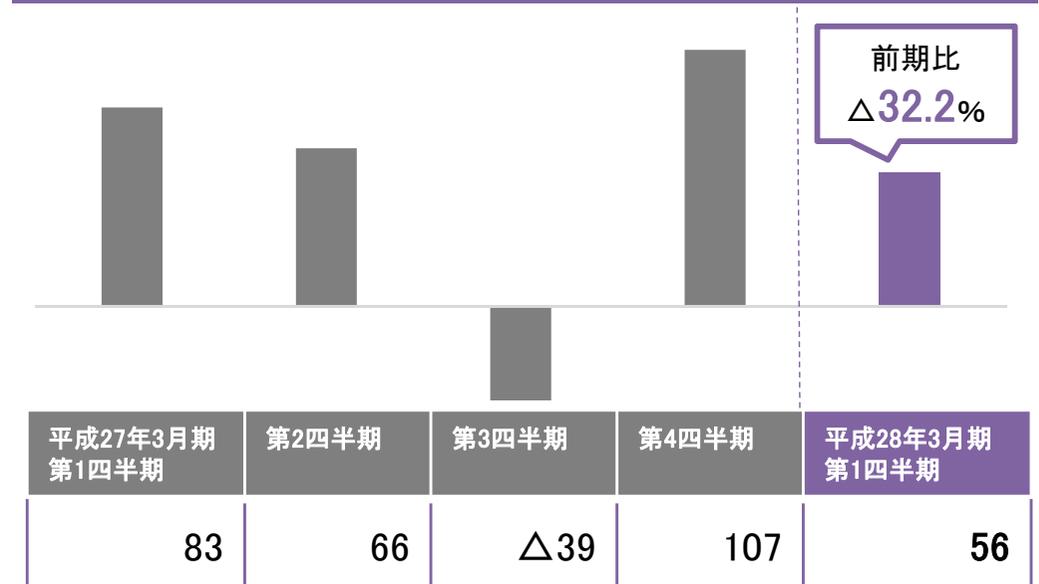
販売数量	製品 +16百万円、商品 +17百万円
販売価格	製品 △15百万円、商品 +2百万円
売上総利益	製品 30.2%→28.4%、商品 19.8%→19.4%
販売管理費	運賃荷造費 +9百万円

(単位：百万円)

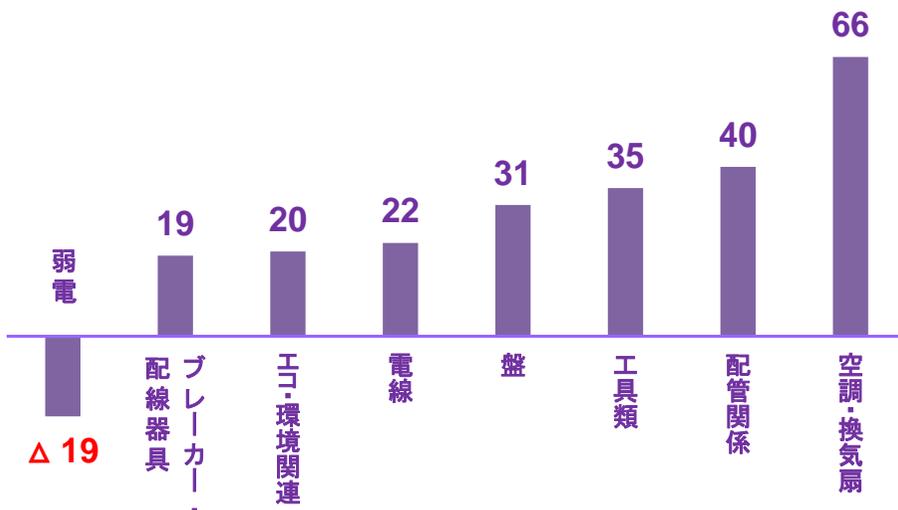
売上高推移



セグメント利益又は損失推移



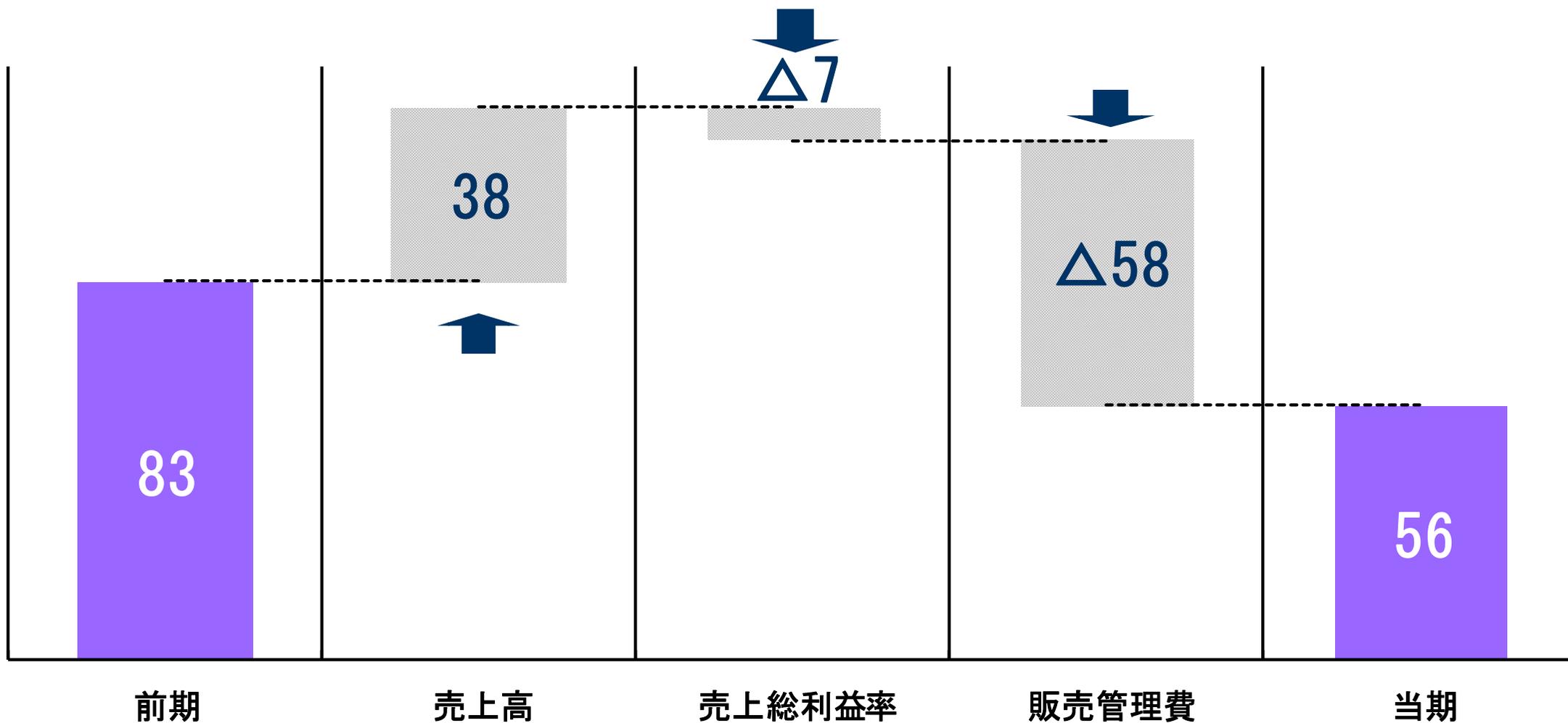
製商品別売上高増減額 前年同期比較



売上高増減要因

前年同期と比較して、約**230**百万円の増加。

- 空調・換気扇 +66百万円
エアコン販売台数の増加、大口物件工事による売上増
- 配管関係 +40百万円
原発・工場向け売上増、中小電気工事物件の増加
- 工具類 +35百万円
太陽光発電設備の架台による売上増
- 弱電 △19百万円
前期に比べ大口物件が減少したことにより売上減



売上総利益	16.3%→16.0%
販売管理費	貸倒引当金繰入額 +48百万円

5.成長戦略



震災復旧・復興需要

異常気象への対応

新商材の開発

海外での取り組み

成長戦略～売上目標達成に向けて～

① 震災復旧・復興需要

東日本大震災関連資材の売上高（単体）推移

（単位：百万円）

	売上高					合計
	H24/3月期 通期	H25/3月期 通期	H26/3月期 通期	H27/3月期 通期	H28/3月期 第1四半期	
ブレース	200	18	87	153	40	500
トラ網セット	126	—	—	—	—	126
コンテナバッグ	281	263	316	308	117	1,288
ブルーシート	152	153	203	254	62	826
土のう袋	52	51	79	108	47	339
その他	239	187	200	307	90	1,025
合計	1,053	674	887	1,132	358	4,106

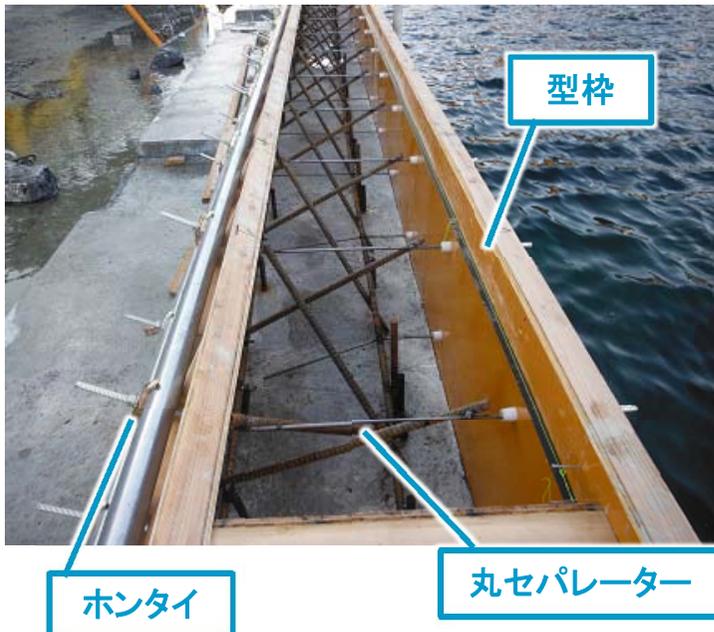
主な復興工程表

従前の工程表
 現在の工程表

年度	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29～	備考
がれき処理							福島県内一部を除き、H26.3月末までに完了
海岸対策							復旧・復興に不可欠な施設がある区間は完了
集団移転 促進事業							引き続き推進
復興道路							引き続き、本格的に整備を推進
除染							5兆円超？長期

※復興庁の資料を基に作成（平成26年6月において工程表更新）

港湾関連



がれき処理・除染作業



がれき処理現場



コンテナバッグ
(KR-2-BB)



がれき・除染土の収納されたコンテナバッグ仮置き場

建築物耐震化



震災現場：鉄骨造が見直されるきっかけとなった。



ブレース



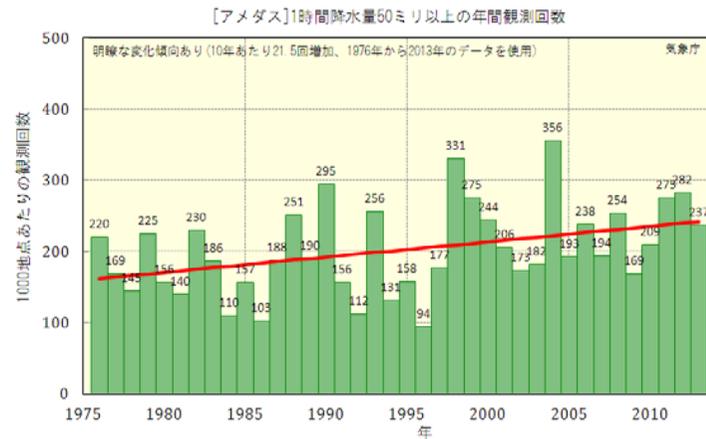
アンカーボルト

② 異常気象への対応

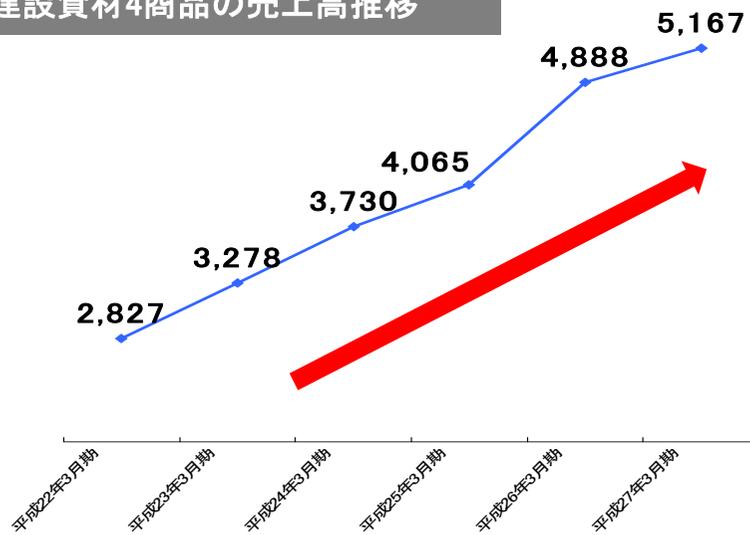
異常気象の動向

アメダスでみた大雨発生回数の変化

アメダスで観測された1時間降水量50mm及び80mm以上の短時間強雨の発生回数を年ごとに集計し、最近38年間の変化傾向をみると、両者ともに統計期間1976～2013年で増加傾向が明瞭に現れています。



建設資材4商品の売上高推移



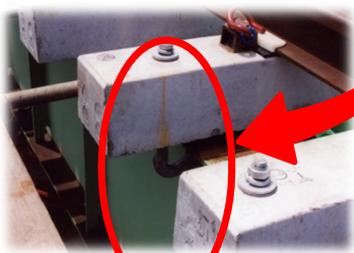
左図は、大雨による災害時に需要が見込まれる、ブルーシート・土のう袋、コンテナバッグ、ネットシート類等の商品の売上高合計の推移を示しております。降水量の増加に伴い、直近6年間で**約2,300百万円も増加**しております。今後も大雨による被害は拡大するおそれがあるため、さらなる需要の伸びが予測されます。

新分野への取組み

営業部門、製造部門合同の新商材委員会を開催し、新商材開発に積極的に取り組んでおります。

角フックボルト

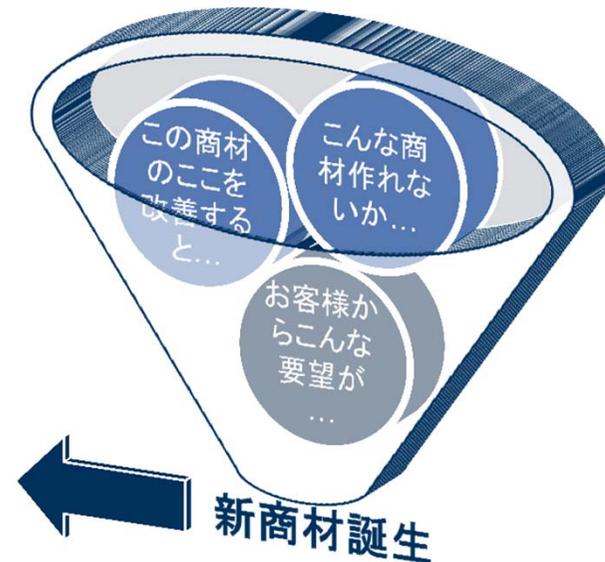
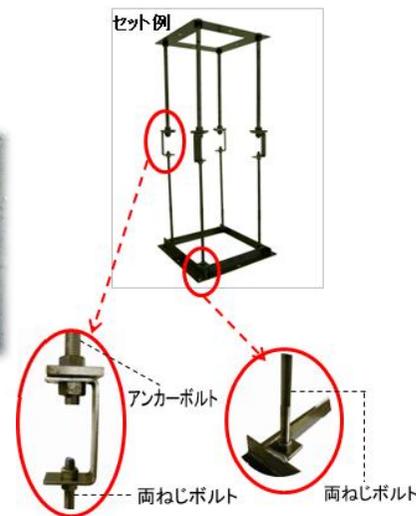
- 角フックボルトは、鉄道の鉄橋部分の枕木を固定する際に使用されるボルトで、当社の特許製品。
- 従来のボルトの本体は丸形であり、列車の振動によりナットが緩むとボルトが回ってしまい頻繁に点検作業が必要だった。
- 角フックボルトは枕木に角穴を開け、ボルト本体も角形となっているため、回転を防ぎ、点検作業を大幅に減らすことができる。



コンベースエコ(アンカーフレーム)

- 柱脚のいぶし銀 コンベースエコ
- 従来のアンカーフレームと違い、両ねじボルトとコの字プレートを使用することで、鉄筋干渉の回避、アンカーボルト周囲へのコンクリート充填がされやすくなり、基礎の強度向上、コスト削減、作業性向上が可能に。ボルトメーカーでこそ実現できる当社オリジナルフレーム。

※実用新案出願済み



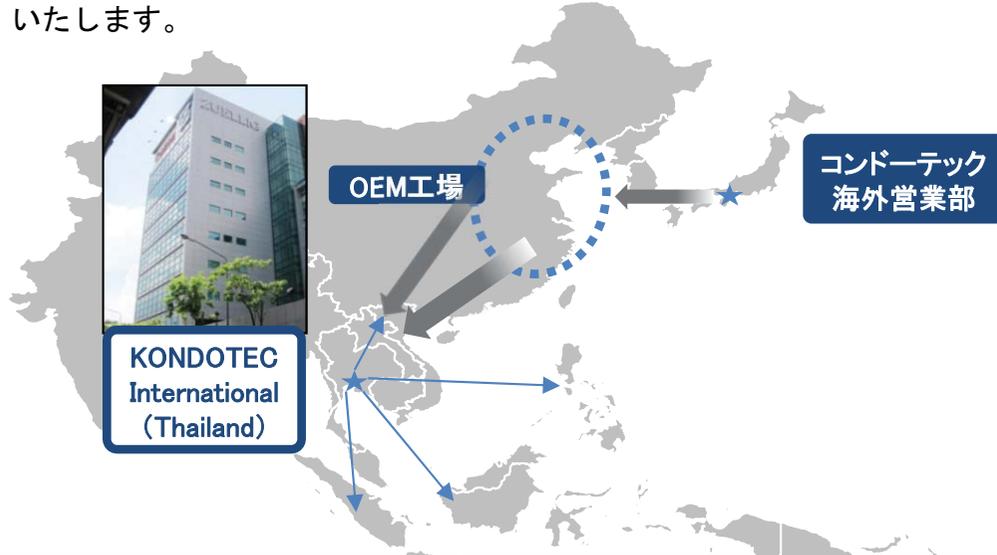
さらに・・・
連結子会社 中央技研(株)と連携し、
開発力の向上を目指します。

中央技研(株)会社概要

設立	昭和56年	資本金	45百万円
事業内容	各種機械装置、省力化機器、搬送ライン等の設計製造業 自動車、家電関連向けの電子部品、産業機械ほか、各種機械装置を手掛ける		

タイ現地法人の設立・子会社化

- 経済発展が著しいタイ、インドネシア、ベトナムといったASEAN諸国との海外取引（建設資材等の新規需要への取り組み）を強化すべく、平成24年11月、新たにタイ現地法人を設立いたしました
- 平成26年8月、タイ現地法人の増資を行い増資後、共同出資会社2社より全所有株式を取得、実質的に当社の完全子会社といたしました。事業拡大に向けた財務基盤の強化を図り、さらなる輸出強化の布石といたします。

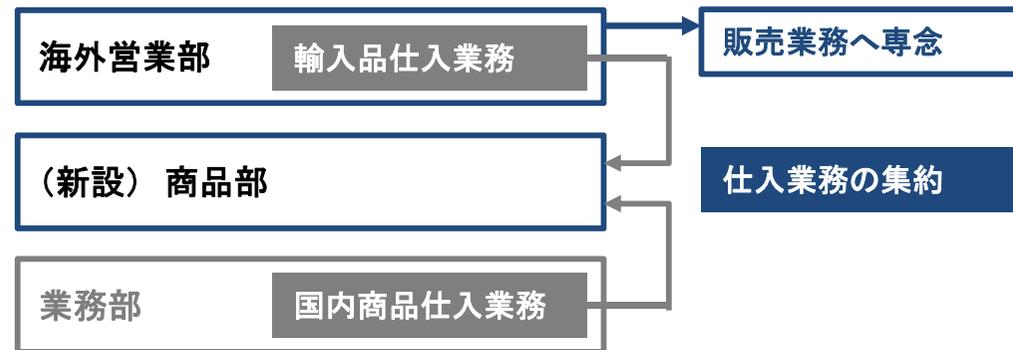


タイ現地法人の会社概要

商号	KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.	
本社所在地	タイ・バンコク市内	
事業内容	タイにおける産業資材、鉄構資材及び電設資材等の輸出入と現地国内販売	
資本金	102百万バーツ（約316百万円） ※4百万バーツから増資	
設立年月日	平成24年11月1日	

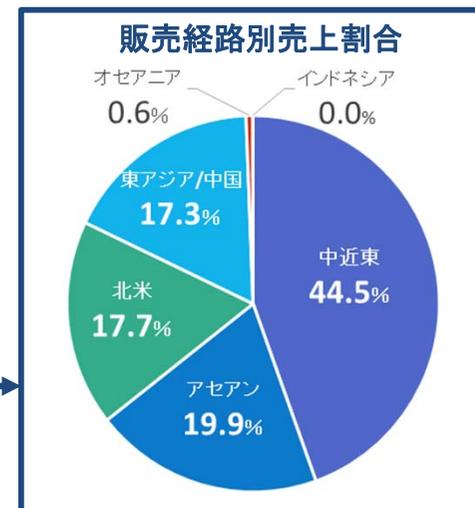
組織再編 ～商品部の設立～

- 平成27年5月、輸入品及び国内仕入商品の商品調達体制を強化するため、業務部及び海外営業部で行う仕入業務を集約し、「商品部」を新たに設立いたしました。
- この組織再編により、商品調達制度を上げ、グループ収益のさらなる向上を図ると同時に、海外営業部において販売業務に専念し、海外輸出売上をさらに高めてまいります。



海外売上高 (単位:百万円)

	タイ現法	海外営業部
前第1四半期	60	33
当第1四半期	79	44
通期計画	400	226



船舶造船、運送、陸海荷役、
製造生産設備、漁業、養殖、農業等

隣接する業界

建設業界以外の業界に関わる
企業をM&Aし、事業の拡大を図る

建築物・構造物を支える部材の強化

事業の深堀

部材メーカー等をM&Aし、
コンドーテックの既存事業を深堀していく

M&A戦略

事業エリアの拡大

海外拠点保有企業をM&Aし、
海外のお客様の獲得を目指す

販売形態の拡充

小売、カタログ販売、ネット販売といった
コンドーテックとは異なる販売形態を取る企業
への積極的なM&Aを進めていく

ASEAN本格展開
【タイ、インドネシア等】

販売経路の拡大、ネット事業の進出

⑥ 成長戦略～売上目標達成に向けて～

様々な成長戦略に着手

M & A

海外事業

アンカー施工

新商材の開発

新規開拓

首都圏営業

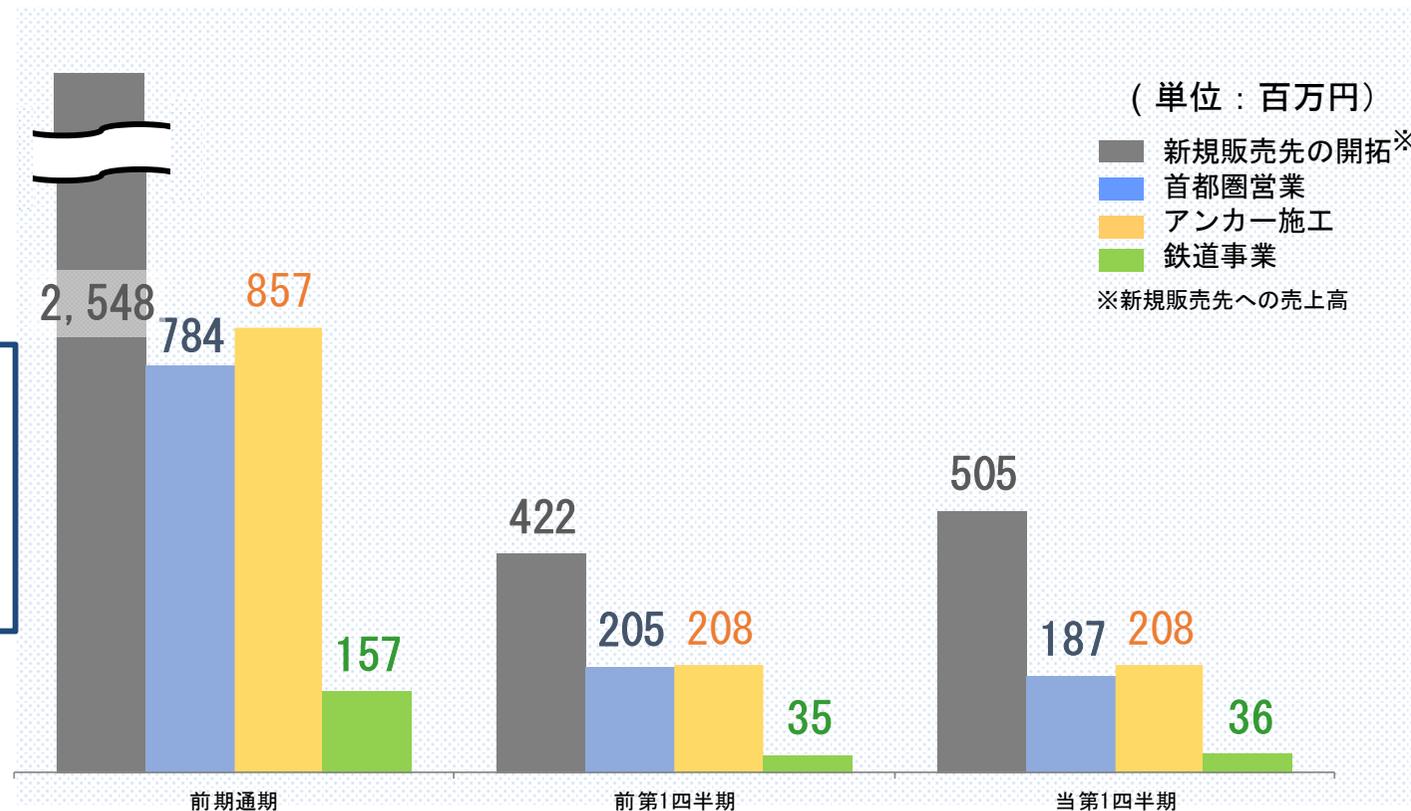
震災復旧・復興需要対応



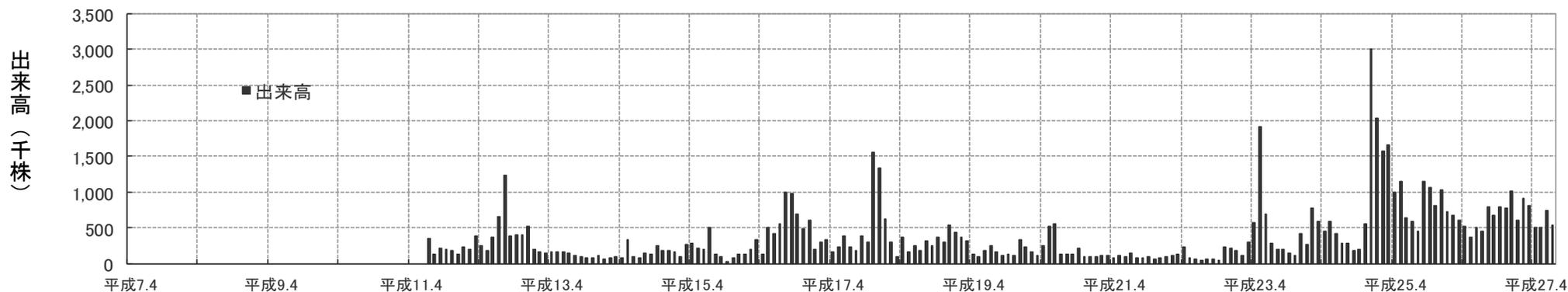
売上高
1,000億円へ

成長戦略 売上高推移 →

- ①新規販売先の開拓
- ②首都圏営業(本部サイドからの集中購買に対応)
- ③アンカー施工(製造に限らず、施工も実施)
- ④鉄道事業(角フックボルトの拡販)



6.株主還元



7月30日終値 767円
PER : 9.51 PBR : 1.05

EPS : 80.67円 (H28.3期予想)
 BPS : 730.49円 (H27.3末) で計算

※平成24年1月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。
 ※平成24年12月に公募増資、第三者割当増資を行っております。







見通しに関する注記事項

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。
それらにつきましては各資料作成時点における経済環境や事業方針等の一定の前提に基づいて作成しております。
したがって、実際の業績は様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。



〒550-0024

大阪市西区境川二丁目2番90号

TEL : 06 (6582) 8441 (代表) FAX : 06 (6582) 8410

ホームページ : <http://www.kondotec.co.jp>

E-mail : kikaku@kondotec.co.jp (総務部)